



医療法人社団二山会 広報誌 第52号



ハートフル

Heartful 通信

理念

Heartful Hospital

心のかよった医療

基本方針

1. わたくしたちは、患者のみなさまの立場になって考えます。
2. わたくしたちは、患者のみなさまが社会復帰できるよう努力します。
3. わたくしたちは、地域に開かれ、信頼され、必要とされるあたたかい施設をめざします。

認知症になるということ

院長 富永 春夫



現在、認知症の患者数は、世界で約5千万人ともいわれています。

当院は認知症疾患医療センターを併設しておりますので、沢山の患者さんが来院されます。最も典型的な症例を提示してみたいと思います（実際の方とは異なります）。

Aさんは、今年84歳。物忘れは80歳前くらいからありましたが、生活上の問題は無かったようです。80歳頃から、同じことを繰り返し話したり聞いてくることが増えました。次第に、人の名前が出て来なくなり、何かを約束した日時を忘れるようになりました。82歳頃からは、買い物に出かけると同じ物を買ってきたり、財布や通帳、印鑑、保険証などを何処にしまったか思い出せなくなって再発行することもありました。薬の飲み忘れや、電話が誰から何の用事でかかって来たかも忘れ、家族に伝えることも出来なくなりました。やがて、物が出て来なくなると家族や近所の人へのせいにし、些細なことで怒りっぽくなりました。夕方になると、自宅にいるのに「家に帰らなきゃ」と外に出ようと、食事をしたことを忘れて「ご飯も食べさせてくれない」と近所や親類の人に訴えるようになりました。

一人にしておくことが出来なくなり、困り果てた家族は病院を受診させようとしませんが、Aさんは受診を嫌がり、怒り出します。車の運転を続けたがったり、実際に見えないもの（人など）が見えると言って騒ぎ出す方や、転倒を繰り返す方、外に出たがらず一日中テレビを見たり寝たりの生活を続ける方など、認知症の進行は人それぞれですが、元来のしっかりした、あるいは優しかった人とは別人のようになってしまいます。その姿を見て戸惑い、涙される多くの御家族を見てきました。

御家族や近所の人、時には警察を巻き込んでの騒ぎとなったり、御家族の生活にも支障を来すようになることが多々あります。治療と介護をどのように取り入れていくか、御家族だけでは難しい問題です。さらに、どのような環境での生活や治療を、何処まで行っていくかを検討しなければなりません。経済的な問題や家族関係、身体合併症などもあって容易なことではありません。

ただ、認知症になるということは、父親や母親だけの問題ではなく、いつか自分が当事者となることを考えて、元気なうちに少しずつ考え、周囲の人と相談し、自らの意志を表明しておかれることをお勧めします。その為にも、早期に、検査などで自分の状態を知り、認知症の進行予防を図り、御家族と良い関係を保っておかれることが大切です。今話題の「運転免許証の返納」も、その一つかもしれません。

何かご心配なことがありましたら、ご相談くださいませ。

広島中央認知症疾患医療センター 平成28年度活動報告

当院は平成25年2月に広島県から『広島中央認知症疾患医療センター』の指定を受け、地域の関係機関と連携しながら、認知症に関する鑑別診断や専門医療相談を行うとともに、研修などの情報発信を行っています。新年度を迎え、昨年度の活動報告と、取り組みについてご報告します。

当センターの中心的な機能である鑑別診断の件数は146件、予約の受付など相談員が対応した相談件数は371件でした。診断件数は例年と変わりありませんが、相談件数は増加し、相談元もかかりつけ医等の関係機関が幅広くなった印象です。

平成29年2月10日には広島中央地区認知症医療連携協議会を開催しました。このたびから新たに民生委員の方にもご参加頂き、連携体制のより一層の強化に努めました。

東広島市から受託している『認知症初期集中支援チーム』では、11名の対象者に対し、のべ64回の訪問による支援を行いました。同じく東広島市から委託を受けている『認知症カフェ』は、毎月第2土曜日に開催し、毎回20名前後の方々にご参加頂いています。

今後も地域の皆さまのお役に立てますよう、より一層、地域連携や情報発信を積極的にすすめていきたいと思っております。今後ともご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。



スタッフリレーコラム

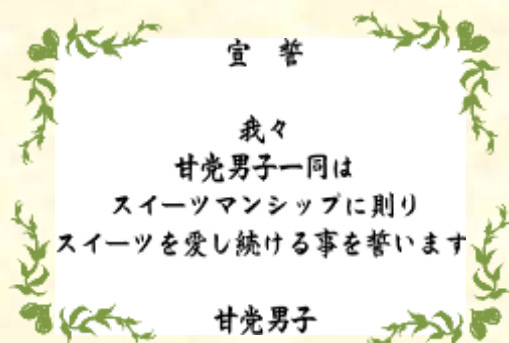
「〇〇男子」

二山会のスタッフがリレー方式でつなぐミニコーナーです。日頃の何気ないことなど、つぶやいていきたいと思っております！

前回号では、宗近さんがふるさと納税について書かれていましたね。話題の物にチャレンジするなんてスゴイ！と思いながら見ていましたが、私も新しいものは大好きです。

私は、新しいもの…そう「新発売」や「期間限定」が大好きで、めっぽう弱いんです。コンビニなどのスイーツコーナーに、この文字が書かれていると、どんなに急いでいたとしても必ず立ち止まります。そして材料・値段・カロリーなどを吟味…。といっても基本ほとんど購入します。購入した物は、じっくりゆっくり味わいます。もちろんすべてが“当たり”という訳ではなく“はずれ”もたくさんあります。

この当たりはずれがあるのも楽しみの一つ。人生も一緒ですね（笑）。これからもスイーツに人生に新しいものにどんどんチャレンジして、楽しんでいこうと思っています。



東広島訪問看護ステーション 所長 中谷 仁志



次は

グループホーム ほんのぼの 管理者

満田 美智子さん

よろしくお願いします！！



医療安全カルタ大会



今年の1月の院内研修会で、医療安全管理委員会が主催で、職員を対象に「医療安全カルタ大会」をしました。「医療安全カルタ」とは、当法人の職員が考えた医療安全標語に絵をつけた、手作りのカルタです。外来にも貼っていたので、見られた方もいらっしゃると思いますが、作成した職員によって標語や絵も多種多様で、バラエティに満ちたカルタになりました。今までは、医療安全管理委員だけが、医療安全に関する研修会の準備をしていましたが、今回の研修は全部署の職員がカルタの作成を通じて、研修会の準備に参加できたと思います。

今回の取り組みにより、全職員の医療安全に関する意識を高め、事故予防につながればと思います。「職員全員が医療安全管理委員」という風土をつくりながら、患者様と御家族と職員が共に安心できる環境作りに携われるよう、私たちは今後の活動を展開させていきたいと考えています。



平成29年3月31日
医療安全管理者 堀 将博



カフェナチュラルツリー



『精神科デイケアほのぼの』では、2008年から①精神科デイケアの就労支援の一環 ②デイケア利用者の生きがい、役割づくり ③患者様、法人利用者様の地域交流の手段 ④当法人利用の皆様やご家族の憩いの場を目的に、デイケア利用者様・患者家族会・病院職員とで『カフェ』の運営をしています。

昨年末、就労のため1名が卒業し、現在は、デイケアほのぼのの利用者様5名とスタッフ3名で土曜日は月2回、平日は月に1回の営業をしています。

2月14日のバレンタインデー営業では、ココア生地のワッフルにハート型に切ったイチゴを乗せ、チョコスプレーなどをトッピングした特別ワッフルを提供し、大変好評でした。

これからも、利用者様の思いを大切にしながら、皆様に喜んでいただけるカフェを長く続けていきたいと思っています。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



次回の営業日 4月22日(土)

10:30~15:30 (15時オーダーストップ)

※11:30~13:00は、昼休憩とさせていただきます。





栄養管理室便り

3月3日に押し寿司、手作り三色ゼリーを提供しました。



今年度は行事食をさらに充実させ、「喜ばれる食事作り」を目標にしています。

栄養管理室の職員が考えた案ですが、◎バイキング食の提供 ◎1日350g野菜が摂れる献立 ◎手作りおやつ提供 ◎郷土料理の提供 ◎リクエスト給食…などの中から年度内に新たな給食を提供していきます。食事の時間が楽しみになるよう頑張ります!!



平成29年2月5日



家族教室を開催しました



食べたり、入浴したり。人の日常生活に関わるすべての諸活動を「作業」と呼んでいます。

セルフケア
＝暮らし、トイレなど日常の生活行動のこと
家族
社会
地域
地域活動

「作業」は、あなたと社会をつなぐ「接点」です。

今回の家族教室は、作業療法室主任・村上が講師となり、『作業療法を知ろう～私たちの大切な“作業”について考える～』をテーマに行い、11名の方が参加されました。作業療法の歴史に始まり、誰でもが「作業」しているという視点から、ご家族自身の「作業」を振り返る簡単なワークも行い、とても新鮮で分かりやすいお話でした。

参加者からは、「作業療法の大切さや、意味を知ることができた」「もっと悩みや体験を語りたい」等の声をいただきました。

次回は5月27日(土)に予定しています。別紙案内(ご家族のみ配布)をご覧ください。

【外来診療案内】

診療時間 8:45~12:00 13:00~16:00 日・祝休診

初診受付 8:30~11:00 12:45~14:30

再診受付 8:45~11:30 12:45~15:30

※初診の方で土曜日をご希望の方は、予約制となっています。木曜日は再診のみです。

お問合せは、お気軽に 宗近病院代表電話 (082) 423-2726 まで!

広島中央認知症疾患医療センター 月・火・水・金・土 午前 **予約制**

直通電話 (082) 493-8651 にて、予約を承ります。



<発行者>医療法人社団 二山会

<編集>広報委員会

〒739-0024 東広島市西条町御園宇 703

Tel(082)423-2726 Fax (082)424-2999

E-Mail : youyou@youyou.or.jp

ホームページ <http://www.youyou.or.jp>

<発行日> 2017年4月



広報誌に掲載の写真は全てご本人の了承を得ております。



編集後記

こんにちは。この春から広報委員会に参加します。よろしくお祈りします。

お初といえば、子どもがピカピカの中学生になりました。小学校では手を引いて門をくぐったのに、今では手を引いてもらい…みたいに大きく成長しました。子どもの成長はついていけないくらい速く、親としての成長は「？」みたいでどンドン引き離されています。私も母親歴中学一年生、子どもと同時にドキドキ、ワクワクしています。これからの3年間を子どもと一緒に楽しみたいと思います。

(N・H)